

俳句を写真画像と共に楽しむ 〈奇数月28日発刊〉

●しゃらくかい 写真俳句会

令和7年 初夏の号 [vol.93]
(5・6月)

<https://isamusouma.web.fc2.com/>

投稿先; kinuko_thompson@hotmail.com

© 2025 Sharakukai



初夏(5・6月)の兼題「めがね」 出題: 千泉

写真俳句の部

(掲載ランダム)



初眼鏡 てんとう虫の星かぞえ

(季語: てんとう虫=夏)

水澄



古めがねリムの割れ目に少し汗

(季語: 汗=夏)

福来雀



眼鏡橋川面に流れ夏の川

(季語: 夏の川=夏)

iSAMU



かんらん
甘藍に青虫さがす虫眼鏡

(季語: 甘藍=夏)

久井



生成画像

ムシ暑いすぐに七月サングラス

(季語：サングラス=夏)

梵木



磯魚追い大海覗く箱眼鏡

(季語：箱眼鏡=夏)

池福楼



夏めくやメガネ曇りし庭仕事

(季語：夏めく=夏)

陽閑

陽閑さんがこんな写真を送ってくれました。



我家のこんな姿のドアストッパー、
本物見イギリスならでかな～！



春霞天守閣より遠眼鏡

(季語：春霞=春)

昼寝覚



サングラス外して色の^{よみがえ}蘇り

(季語：サングラス=夏)

準坊

浴衣^{まげ}髻メガネも粋な力士行く 池福楼 (季語: 浴衣=夏)

白雨やみ眼鏡忍ばせ広重展 久井 (季語: 白雨=夏)

好タイムゴーグルキラリ飛沫上げ 水澄 (季語: ゴーグル=夏)
(水中眼鏡)

北斎忌群青色の眼鏡拭き 福来雀 (季語: 北斎忌=夏)

揚羽舞い上目遣いの鼻めがね 準坊 (季語: 揚羽=夏)

亡き娘にも代々形見の老眼鏡 マム (季語: 無季)

小さいゾ夏のムシ見る丸メガネ 梵木 (季語: 夏の虫=夏)

メガネ拭き差し出す友や薄暑来る 一枝 (季語: 薄暑=夏)

伊達メガネ映る眩しき若楓 陽閑 (季語: 若楓=夏)

箱根路を眼鏡投げ捨てゴールまで 昼寝覚 (季語: 箱根駅伝?=冬)



季語解説

甘藍 (かんらん) = キャベツのこと。玉菜。アブラナ科の一・二年草葉菜。ヨーロッパ原産で、日本では明治末より一般に普及した野菜。【夏】

若楓 (わかかえで) = 楓若葉・青楓。若葉の楓の略。青楓とともに古歌に詠まれてきた伝統をもつ言葉で、独立した季語となっている。【夏】

白雨 (はくう) = 夏の夕方に降る局地的な激しい雨。雷鳴を伴うことも多い。短時間でやんだあとは、からりと晴れて涼気を感じさせる。武蔵野の夕立は馬の背を分けるといわれ、激しいことで知られる。【夏】

揚羽 (あげは) = 揚羽蝶の略。夏に見られる蝶のこと。特に大型のことが多い。揚羽蝶は、黄色地に黒の複雑な模様を持ち、大きく美しい。翅(はね) 黒い黒揚羽もまた、夏に多く見られる。【夏】

池福楼

米 5 キロ金庫に仕舞う心配症 [コメ泥棒相次ぐ]

暮らし向き増税メガネより悪し [物価高、働けど働けど…?]

福来雀

やるまいと決めたがやってる鼻めがね [老眼鏡はこれが一番便利]

何もない所で転ける特技あり [歩く足が上がっていない]

準坊

サングラス気取って歩いて躓^{つまづ}いて [オットット…]

アレだアレ、アレじゃないアレ、アレだつてば [言葉が出ず…]

陽閑

強がりに老眼鏡と呼ばせない

サングラス頭に乘せて銀行へ

首吊るす眼鏡携帯さらに鍵 [ついでに名札]

水澄

サングラス人目気にせずプチエステ [齢を隠して…]

久芽

米足りず江藤さんちに溜ってたんだ [食品庫が有るんだって]



夏兼題『家事全般』

イメージ写真

- 一枝さんより夏7・8月号の兼題を「家事全般」と出題していただきました。隔月という課題になりますが季節は幅広く捉えて自由に発想を広げて作句をお願いします。
締め切りは令和7年7月20日です。

- 写楽句会にご意見、ご希望等ございましたらお知らせください。

下記のiSAMUさんのホームページから「写楽句会」をクリックして頂くと写楽句会のバックナンバーが閲覧できます。

<https://isamusouma.web.fc2.com/>

写楽句会 連絡先: kinuko_thompson@hotmail.com

© 2025 Sharakukai

夏(7・8月)の号 兼題「家事全般」